

文書館だより

TEL 027 (221) 2346
URL <http://www.archives.pref.gunma.jp/>

第46号 平成21年3月

群馬県と成立

明治四年十月十八日岩鼻村所轄高崎
沼田中野等村十幡七日市八幡を合し
群馬縣を置し佐置り上野国群馬郡高
崎郡之をらん管轄。群馬縣は胡村
桑野多碓氷吾妻利根佐位那波ノ十郎
ヲ管ス石高四拾五万石余
同六年六月十九日群馬河内高縣ノ廢し然亦縣
置し佐置り武蔵国大里郡熊谷郡之を
らん同國横見ノ周秩又甲倉大里榛沢加美
幡羅比公新座那賀兒玉高藤十三郡及多
摩郡中野等村ヲ前條旧群馬縣管下郡
ヲ統マ管轄ス石高八拾五万石余

同九年八月廿一日熊谷縣ヲ群馬縣ト改稱
佐置り上野国群馬郡高崎郡ヲ移サレ(郡中縣
廢在里ヲとらん)武蔵國中十三郡及
上野前條所管諸郡ヲ統マ管轄ス
高崎郡高崎郡高崎郡高崎郡高崎郡
新田邑桑三郎及前條河内十一郡ヲ深マ上野
全國ヲ管轄ス石高六拾三万石余同十一年十二
月郡彼等ヲ彼置ス(之)古十四郡ヲ分テ東
群馬南野多碓氷吾妻利根佐位那波ノ十郎
廿廿余碓氷吾妻利根佐位那波ノ十郎
桑野多碓氷吾妻利根佐位那波ノ十郎
縣廢佐置り河内東群馬郡前橋町改定
セらん

群馬縣

群馬県の

誕生に関する行政文書

この「群馬県と成立」は、「管内雜事」(群馬県行政文書明治一三二二二〇二)に綴られた「巡察使吉田内務書記官へ差出書類原稿」の一部です。明治十五年(一八八二)翌年、明治維新後の地方監察のために巡察使が派遣されました。この文書は提出書類の原稿の起家であり、冒頭には当時の県令(楢取 素彦)の確認印影もみられます。朱書・貼紙により修正を加えた箇所もあります。

明治四年(一八七二)十月二十八日、上野国旧藩からの八県を統合し群馬県(第一次群馬県)が誕生しました。その後同六年に群馬・人間の兩県を廃止して熊谷県が設置されました。同九年には熊谷県を廃止し、栃木県管轄であった山田・新田・邑栗の三郡を編入し、再び群馬県(第二次群馬県)が設置されました。これにより、現在の県域とはほぼ同じ「鶴舞う形」の群馬県となりました。これら一連の群馬県誕生の様子が記されています。また、県庁の変遷についても記載が見られます。

この文書は、「巡察使への報告」という業務書類ですが、時を経た今は、群馬県誕生の経過を私たちに伝える貴重な歴史資料となっています。

文書館常設展

なぜ記録を残すのか？

アーカイブズの役割

当館では、館業務や当館取蔵資料についての理解を深めてもらい、記録史料保存の大切さを考えてもらうために常設展「なぜ記録を残すのか？」アーカイブズの役割」を開催しています。

▽期日 平成二十一年一月十日(土)

～六月二十一日(日)

▽会場 文書館展示室 観覧無料

「アーカイブズ (Archives)」とは、英語で記録史料やその保存庫(文書館・公文書館等)のことを指す言葉です。欧米諸国では、図書館や博物館とともに市民にとって親しみのある文化施設となっています。日本では図書館や博物館に比べると認知度はまだ十分ではありません。しかし、近年はテレビ・新聞等のマスコミを通して「アーカイブズ」という言葉が広く知られるようになってきました。また、アーカイブズの存在価値や重要性も認められつつあります。

アーカイブズの役割は「古い記録の保存」だけではありません。現在作成されている記録・文書を積極的に保存することも重要な役目です。将来、必要とされるであろう記録を積極的に保存することで、未来に対する説明責任を果たすこと

ができるのです。先人が残した記録資料が私たちの生活を豊かにしているように、今残した記録が未来の人々の生活に役立つのです。

公文書の収集・整理・公開

当館では県で作成される公文書等を収集・受入、保存しています。利用に向けて様々な準備作業を行います。

①収集 当館では県庁文書について毎年収集作業を行っています。実際の文書の中から、将来歴史資料として市民の方に利用されるであろう文書を選び収集しています。

②整理 収集し

た文書は、まず目録作成作業のための登録を行います。その後、カビや害虫を防止長期保存するためのくん蒸・カスで殺虫・殺菌を行うを実施します。そして最低限の補修、目録作成、内容点検等を実施します。これをまとめて「整理作業」と呼んでいます。整理作業が全て終了することで、公開の要件が整います。



整理作業の様子

③閲覧公開 整理作業が全て終了すると、公開されます。当館では、昭和30年

までの公文書が公開されています。古文書の収集・整理・公開

文書館では、古文書をお持ちの方から、古文書をお預かり、または寄附をうけて受け入れています。受け入れた古文書は整理済み、ひろく県民の方にご利用いただいております。

①収集 受け入

れ予定の古文書は現地調査の上、寄贈・寄託の手続きを行います。



現地調査の様子

②整理 よこれを落とし、虫やカビを除去します。古文書は一点一点内容を確認し、データベースに入力し、受入目録を作成します。家ごとの登録番号と番号が書かれたラベルを貼り、適切に管理します。書庫内は文書にとって最適な温湿度に保たれており、火災への備えも万全です。その後古文書の内容を点検し、閲覧に必要な年代順の文書目録を作ります。

③閲覧公開 閲覧室で直接手にとってご利用いただけます。また文書館ホームページ上で検索できます。

文書館の教育普及活動

文書館では歴史の資料として価値を持つ・持ち得る公文書・古文書等を確実に保存し、その活用をはかるため、様々な教育普及活動を行っています。さまざまな公文書・古文書
今回の展示では、取蔵する公文書・古

文書の中から基本的な資料に加え特徴のある資料を展示しています。

ぜひ文書館に來館頂き、実物の文書を手にとりいただき、ここで紹介できなかった公文書・古文書もご覧いただければと思います。

平成二十年度特別展

目で見える文書館資料展1

～絵図・絵ヒラ・アラカルト～

開催報告

文書館の取蔵資料の多くは、古文書にイメージされるようないわゆる「文字資料」です。近・現代の資料の中には活字になっているものもありますが、多くは読み解くのに訓練を要するものであり、このことが、県民の方に文書館へのある意味「敷居の高さ」を感じさせてしまっているのではないのでしょうか。

今回、県庁で開催しました特別展では、この「敷居の高さ」を解消すべく、目で見えてわかる絵図、絵ヒラ、大名行列図等の資料を展示しました。十一月七日から十一日までの五日間の開催で、七七六人の方にご覧頂きました。



展示会場風景

「ふるさと再発見講座」を開催

「ふるさと再発見講座」は、文書館が地域に向き、地域の人々とともに、地域の歴史資料を引き出して、新たな視点で地域文化を紐解くことを、目指しています。

今年度は、次のとおり、3回実施しました。①7月23日午前10時～午後2時、会場・太田市徳川町満徳寺資料館、テーマ「坂東太郎「利根川」水運は、江戸とをつなぐ物流の幹線であった」、講師、小此木實次さん、②9月17日、会場、みなみ町水井宿郷土館、テーマ「あちやとだんへの国さかい」、三国街道を行く！」、講師、見城孝司さん、③11月5日、会場・前橋市総社町山王院寺跡、テーマ「山王院寺は全国有数の古代寺院であった」、講師・前原豊、池田史人さん。



みなみ町「永井宿郷土館」で、三国街道の話

岸から江戸へ下った。この時の記録「伊勢金比羅宮日記」によると、正月廿九日「拂跳出帆、風猶強く、船中寒気はげし、連中寒気にくるしむ。予は蒲団にて、このうれいを免ぬかるなり。これ等にても蒲団の旅行に益ある事を知るべし。勝か島より富士山見ゆる。昨夜の雨、山々は雪にて銀の如し。川股にて弁当、栗橋にて休み、八つ半時なり。晡時関宿着。船にて野村勘兵衛と申す船宿にて食事。夜の四時出帆、松戸にて夜明く、食事を商う者来る。船中一対を得たるなり。〔沙汀群鳥半異種、扁舟数客皆同心〕関宿夜舟の儀、朝より精々急ぎ度く、早く宿に着く様に心懸けべきなり。若し遅

き時は二番舟、三番舟も出切候は、一艘買ひ出らば、翌日一日滞留となり、買ひ出らにて大に不便なり。必ず心得べき儀なり。」晦日「快晴、すこぶる暖気、深川沙村亀久と申す茶屋へ、正九つ着船。少しく休み、食事をしたし、それより馬喰丁二丁目、辻屋平兵衛宅に泊り、両国に遊行す。」と記され、上州徳川「江戸深川間を夜行30時間余で結んでいたことになる。順庵はその後、鎌倉・伊勢・高野山・金比羅宮・大坂・京都・善光寺を巡り、4月7日に伊勢崎に戻った。

この日はなんと暑かったとか！利根川へ河岸の跡地を探しに行くころには、もうみんな汗だくでした。

②三国街道水井宿」は、初秋のさわやかな日柄。郷土館の周りには、コスモスが咲き誇っていました。

水井宿は、三国街道、越後との国境、上州最後の宿。宿全体が山道の斜面につくられているので、一軒一軒の敷地は段差に整地されています。まるで段々畑のような。多くの旅人が行き交ったのだろう。越後から米などの荷駄、長岡藩など参勤交代の行列、維新時には会津へ向かう守る人攻める人。資料館前庭（猿ヶ京小学校水井分校跡地）の若山牧水歌碑には「山かけは日暮はやくに学校のまだ終わらぬか本読む声」とある。大正11

年「みなみ紀行」の旅、法師温泉に向かう途中で立ち寄ったものだ。

③「山王院寺」は、榛名山東麓斜面と広瀬川（利根川）低地帯とに挟まれた前橋台地の北端部付近に位置しています。「文字瓦」の出土や、「山ノ上碑」（辛巳歳1168）、「上野国交替実録帳」（長元3年11030）などの記録から、7世紀後半に創建された定額寺の「放光寺」ではないかと考えられている。寺域は2町四方規模で、回廊内の東に塔、西に金堂を配する法起寺式伽藍として注目される。近年発掘された夥しい量の塑像断片は、塔初層の仏伝ジオラマを形づくった諸像や塑像に違いない。いずれも何ら気負うことのない清新な造形であり、穏やかで気品あふるる表情は、当時の人々の精神が伝わってくる。

参加者から「こんなにも誇れるものがあつたんですね！」と声を掛けられた。地域の方々も知らないこと、既に忘れかけていること、その良さに気づいていないこと、私たちの周りにはたくさん宝物が潜んでいます。そして、この隠れた宝物について、その土地の人だからこそ知り得る土地の機微を伝えていただいています。さて、「土地の話」を聞く「土地の史料を紐解く」+「現地を見る」+「僧と交流する」を基本に、この講座は某年度も開催していきます。どうぞ、お楽しみに！

新たに収蔵した

行政文書

管理受任等 平成十九年度に管理委任及び引継により県の各機関から受け入れた文書は、七八二冊でした。(詳細は表1のとおり)

表1 平成十九年度管理受任文書の課室別冊数

課室名	冊数	課室名	冊数	課室名	冊数
学事法制課	43	森林保全課	24	道路企画管理課	67
市町村課	12	地域農業支援課	77	都市計画課	37
土地・水対策室	37	畜糸園芸課	9	知事部局合計	585
介護高齢課	9	畜産課	50	文化課	197
業務課	44	農業基盤整備課	42	教育委員会合計	197
食品監視課	68	商政課	2	総計	782
林業振興課	48	用地課	16		

収集 平成十九年度の文書整理において

県の各機関が廃棄した文書資料中から、文書館が歴史資料と認め収集したものは、二、七七一冊でした。(詳細は表2のとおり。なお、議会図書室からのものは郷土資料等。)

表2 平成十九年度収集文書部局別冊数

部局名	冊数
総務部	290
企画部	130
保健福祉部	181
環境森林部	285
農政部	209
産業経済部	228
県土整備部	708
議会事務局	29
教委事務局	657
合計	2,717



県庁での選別収集作業の様子

平成二十年年度収蔵資料展1

古文書で語る庶民の暮らし

赤城南麓の村々を訪ねて 開催報告

当館では昨年度、「群馬県立文書館収蔵文書目録 26」―前橋地区諸家文書(1)―を刊行しました。目録には、赤城南麓に位置する前橋市内と旧勢多郡大胡町の村々に伝わった古文書を取録しています。そこで本展示では、目録作成の成果を生かしつつ赤城南麓の村々を舞台に「古文書で語る庶民の暮らし」をテーマとして庶民の日常生活や交流の様子について様々な角度から展示しました。また、古文書の基本的な見方や活用の仕方なども紹介しました。

七月四日(金)から九月二八日(日)までの七十二日の開催でしたが、八五六名の方にご覧いただきました。また、八月一日(金)から公開を始めたホームページ上での展示にも七〇〇名を超える方にアクセスしていただいています。

展示では紹介した史料の中心は区有文書でしたが、それらは地域の共有財産として江戸時代以来、大切に保存されてきたものです。展示を観覧された方からは、自分の住む地域の古文書を見ることが、地域の歴史を伝える貴重な証としての古文書の大切さを感じる事ができた、との感想をいただきました。

平成二十年年度収蔵資料展2

統計資料でふるさと再発見

明治期ぐんまの人とくらし 開催報告

この展示では、昨年度当館で刊行した『群馬県行政文書件名目録第19集(明治期庶務・秘書・統計編)』の成果を生かしつつ、展示期間中の十月十八日は「統計の日」と定められていることもあり、次のようなコーナーを設けて資料を紹介しました。

- ①十月十八日は「統計の日」
- ②当館で閲覧できる近代統計関係資料の紹介
- ③近代統計書のはじまり
- ④明治期統計書のできるまで
- ⑤ぐんまにおける人の動き
- ⑥ぐんまの県民性と畜糸業のかかわり
- ⑦目で見る統計コーナー



十月十一日(土)から十二月二十五日(木)までの六一日間で、三八三人の方にご覧いただきました。引き続き当館ホームページ上で公開しておりますので、どうぞご覧ください。

新たに収蔵された

古文書

〔寄贈・寄託古文書〕平成二十年四月以降

◎前橋市勝沢町・宮内次郎氏収集文書

桐生他県内の近世より近代史料八五点。

◎前橋市小神明町・宮内禎一家文書

小神明町と宮内家伝来史料一六点。

◎前橋市文京町・富田弘尊家文書

明治期の新前橋駅跡切設置に関する史料二点。

◎吾妻郡韮津町・中澤亮三氏収集文書

草津温泉関係を中心とした近世より近代史料一五五八点。

◎多野郡神流町・黒田やす家文書

近世黒田村以降の黒田家伝存史料一七八点。

◎勢多郡医師会関係文書

勢多郡医師会に關係する昭和以降の史料九〇点。

◎利根郡みなかみ町・後閑權之介家文書

近世より近代にかけての後閑家及び村方史料三三〇五五点。

◎前橋市表町・前沢一男家文書

皇太子殿下（昭和天皇）御渡政記念関係史料一点。

◎桐生市東・清水照治氏収集文書

近世宮地村（前橋市）水帳一点。

◎東京都新宿区・飯塚洋子家文書

（寄贈）

近世より近代にかけての飯塚家・渋川市土白井及び村方史料約八〇〇点。

◎吾妻郡長野野町・浦野安孫家文書

近世林村関係文書、明治以降神職関係文書、和本類など七八五点。

（追加寄託）

◎前橋市文京町・神林駒吉家文書

太平洋戦争時の戦死者追悼文集一点。

◎前橋市天川大島町・関口尚勇家文書

近世天川大島村関係、近代戸長役場関係、木札など二点。

◎青森県弘前市・上條信彦氏収集文書

前橋藩（松平家）の藩士であった藤山家に関する近世より近代の史料約五〇〇点。

◎高崎市新町・三保健久家文書

近世より近代にかけての書簡、写真類など二俣家関係資料約三〇〇点。

◎群馬映画社関係文書

群馬映画社が製作した関係資料やフィルム約二〇〇点。

◎長井進氏収集文書

近世より近代にかけての文書、和本類など約一〇〇点。

（追加寄託）

◎宮城村田ヶ島

（前橋市田ヶ島町・宮城村田ヶ島区有文書）

（寄贈・寄託古文書）

（追加寄託）

（追加寄託）

（追加寄託）

（追加寄託）

（追加寄託）

（追加寄託）

（追加寄託）

（追加寄託）

古文書

新たに閲覧できる

江戸時代から昭和中期にかけての史料です。近世名主文書（年貢済目録ほか）、明治期以降苗ヶ島村戸長役場関係文書（地租改正関連ほか）、宮城村苗ヶ島区有文書（役場文書ほか）からなっています。

八八五五点（P八五一）

◎佐波郡赤堀町今井・前伊勢市井町・赤堀雄家文書

江戸時代中期から明治期にかけての史料です。江戸時代の名主及び御用関係文書があります。赤堀家の私的文书として酒造関係は多数の家数についての記録もあります。膨大な史料群のため今回は部分公開となります。

三〇六六六點（P八九〇）

◎利根郡新治村布施・奥みなかみ町布施・新治村布施区有文書

江戸時代中期から昭和初期にかけての史料です。近世の布施村関係文書は棟や干草刈りの入会についての村議定や訴訟などの文書があります。戸長役場関係文書には地引帳などがみられます。

一五二五五點（P八七〇）

◎前橋市平和町・齋藤仁義雄家文書

明治期の「業刑調査資料」です。寄贈者齋藤仁義雄氏の母方の祖父は、安中藩代後半以降に出版された版本が中心です。他に、石川家の系譜関係史料もあ

ります。

二九点（P〇九五）

◎マイク口収集文書

（追加付分）

◎明治期「郷土誌」

平成十九年度に収集した旧勢多郡大胡町・現前橋市大胡町と旧多野郡神川村（現多野郡神流町万場）の「郷土誌」と、「郷土誌」の関連史料です。

三点（P〇〇〇）

◎埼玉県羽生市・石川行夫家文書

新郷川保閑所の関守を務めていた石川家に伝来した文書です。大きく①新郷川保閑所関係文書と②石川家の私的文书の二つに大別できます。

①新郷川保閑所関係文書（約六〇〇点）

内の二四点が関所手形、一四点が印鑑です。関所手形の約半数は利根川舟運関連であり、米、油、塩などの荷が確認できます。また、関所の実務関連の記録も

あります。②石川家私的文书は、江戸時代後半以降に出版された版本が中心です。他に、石川家の系譜関係史料もあ

ります。

一〇五五点（P〇四〇）

◎埼玉県羽生市・羽生市立郷土資料館文書

羽生市石川行夫より郷土資料館に寄

す。

三五五五点（P〇九五〇）

◎前橋市上泉町・宮川満氏収集文書

江戸時代文政より安政期の史料です。上泉郷藏の舞台の襖の裏張りに使われていたものを、宮川氏が収集した文書です。

前橋城下、町人町の萱屋町についての史料で、役人の退任、年貢関係のものがあ

ります。

二九点（P〇九五）

◎マイク口収集文書

（追加付分）

◎明治期「郷土誌」

平成十九年度に収集した旧勢多郡大胡町・現前橋市大胡町と旧多野郡神川村（現多野郡神流町万場）の「郷土誌」と、「郷土誌」の関連史料です。

三点（P〇〇〇）

◎埼玉県羽生市・石川行夫家文書

新郷川保閑所の関守を務めていた石川家に伝来した文書です。大きく①新郷川保閑所関係文書と②石川家の私的文书の二つに大別できます。

①新郷川保閑所関係文書（約六〇〇点）

内の二四点が関所手形、一四点が印鑑です。関所手形の約半数は利根川舟運関連であり、米、油、塩などの荷が確認できます。また、関所の実務関連の記録も

あります。②石川家私的文书は、江戸時代後半以降に出版された版本が中心です。他に、石川家の系譜関係史料もあ

ります。

一〇五五点（P〇四〇）

◎埼玉県羽生市・羽生市立郷土資料館文書

羽生市石川行夫より郷土資料館に寄

す。

三五五五点（P〇九五〇）

◎前橋市上泉町・宮川満氏収集文書

江戸時代文政より安政期の史料です。上泉郷藏の舞台の襖の裏張りに使われていたものを、宮川氏が収集した文書です。

前橋城下、町人町の萱屋町についての史料で、役人の退任、年貢関係のものがあ

ります。

二九点（P〇九五）

◎マイク口収集文書

（追加付分）

Q&A レファレンス コーナー

贈された文書です。新郷川保閑所関連と書道関連の史料で大別できます。内容的には通行手形や習字の手習関係のものが中心です。 二三点（F・P・O・二）

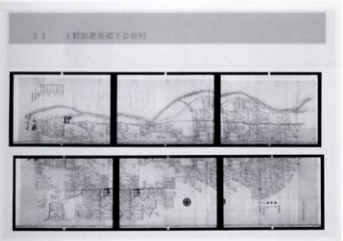
Q 明治時代の群馬県の土地利用について調べたいのですが。

A 文書館には、「地券発行にかかる地引絵図」約一、二〇〇枚があります。明治五年（一八七二）壬申の年、地券交付のために作成が指示されたもので、「壬申地引絵図」「壬申地券地引絵図」ともいい、耕地一筆ごとの地番、地目、面積、所有者等が記されています。道路、河川、山地等は色分けて表現され、宅地、神社、寺院等が写実的な絵で描かれている村もあり、作成した絵師による特徴があらわれています。表現方法の違いはあっても、絵図からは当時の土地利用の様子を知ることができます。平成十九年三月には、この絵図を含む明治期から昭和二十二年四月の地方自治法制定までの「群馬県庁文書」一七、六二九点が、群馬県重要文化財として指定されました。

絵図の原本は大型で虫損等による破損

もあつたため、補修を行い、昭和六十三年度から平成十七年度にかけて、カラーフィルムとマイクロフィルムによる複製を行いました。絵図の全体を概観したい方は全体図のカラー写真をご利用いただけます。さらに細部をご覧になりたい場合はマイクロリーダーで閲覧していただけます。モノクロマイクロフィルムからは、即時に複写することができます（有料）。

明治初期のほぼ県内全体の土地景観を概観できる歴史資料として、市町村史（誌）や歴史・地理等の研究、地名研究のほか、先祖のことを調べてみたい、郷土の歴史に触れてみたいという多くの方々にご利用いただいています。



地図21 群馬郡下田村カラーマイクロフィルム

ホームページ上で好評実施中 「群馬ふるさと再発見クイズ」

当館所蔵の江戸時代の古文書や明治期以降の行政文書を読み解きながら、古文書を学ぶ楽しさや郷土群馬の歴史に親しんでもらうことを目的に、実施しています。毎回、成績優秀者上位5名様に文書館作成冊子をお贈りしています。奮ってご参加ください。

*第4回出題問題の一部を紹介します。



A



B

C

A～Cは当館所蔵の群馬県行政文書の中文書及び写真、絵図です。

問題1 Aは現在の群馬県が成立したときに出された布達ですが、このときの県令（県知事）の名前を答えてください。
問題2 Bは前橋空襲後の写真です。前橋空襲は何月何日に起こったでしょう。

①2月10日 ②3月15日 ③8月5日
④10月10日

問題3 Cは「ある出来事」の聖火リレーの群馬県内の様子です。「ある出来事」とは何でしょう。
問題4 これらの行政文書は当館に何冊ほどあるでしょう。

①約1500冊 ②約15000冊
③約150000冊

問題5 文書館のような「組織の記録（文書）を管理する機関」を意味する用語をカタカナ6文字で答えてください。
問題6 2009年国際公文書館会議（ICA）の設立60周年を記念して、記録保存の大切さに親しむ「国際アーカイブズの日」が制定されました。国際アーカイブズの日は何月何日でしょうか。

①6月2日 ②6月9日 ③6月29日
《答え》問題1・相模宗彦 問題2・③
問題3・東京オリンピック
問題4・③ 問題5・アーカイブズ
問題6・②

古文書研究団体活動実態調査結果（概要）について

○ 調査対象

事前に把握した市町村域の団体48団体に対するアンケート調査を行い、27団体の活動状況をまとめた。
 (調査基準日 平成20年10月1日)

○ 活動状況（抜粋）

1 市町村別古文書研究団体の状況（「別表」のとおり）

非公表希望の1団体については未掲載（県域団体3団体を参考掲載）

(1) 団体参加者数

総計376名（市部319人 郡部57人）、1団体あたり平均14人である。

（会員規模階層別団体数）

会員規模	～5人	～10人	～20人	～30人	計
団体数	3	7	12	5	27団体

(2) 活動拠点

公民館など市町村立施設を使用し、月1・2回の定例会を開催している。

活動場所	公民館	図書館	その他社会教育施設	役場・出張所	文化施設	青少年施設
団体数	15	3	2	3	2	1

2 年会費

会費徴収を行っている23団体の状況は次のとおりであるが、額のばらつきは、会費対象の活動範囲の違いであると考えられる。

会費階層	～1,000円	～5,000円	～10,000円	10,001円～
団体数	5	11	4	3

○ 課題

記載した団体は22団体

会員の高齢化による活動力の減退と会員数の確保が最大の課題となっている。

- ① 会員の減少等 14 団体
- ② 教材確保難 5
- ③ 学習方法 5 (講師・指導者確保、会員研修)
- ④ 運営費不足等 2 (行政依存からの脱却)

古文書研究団体

		団体名	〒	住 所	代表者	電話番号/備考
(29) 市町村域 (26)	県域 (3)	鮎魚の会	〒370-3601	北群馬郡吉岡町漆原375-1	柴崎 喜朗	0279-54-3194
		古文書同好会	〒371-0812	前橋市広瀬町1-31-5	山口 朗	027-261-7883
		岩崎古文書同好会	〒370-2331	富岡市内匠161-3	橋 潤	0274-63-3121
	前橋市 (3)	桂登古文書をよむ会	〒371-0007	前橋市上泉町1152-1	稲葉 明子	027-269-8424
		南橋歴史友の会	〒371-0056	前橋市青柳町523	新井 榮一	027-233-9225
		三保町の古文書を読む会	〒371-0018	前橋市三保町1-42-46	吉田 甲治	027-221-6582
	高崎市 (4)	高崎古文書の会	〒370-0004	高崎市井野町1293-3	浦野 和美	027-361-1768
		森の会	〒370-0864	高崎市石原町536	高橋 栄子	
		新町文化財研究会	〒370-1301	高崎市新町2152-3	川村 康雄	0274-42-0727
	伊勢崎市 (3)	新町古文書を読む会	〒370-1301	高崎市新町751	新井 実	0274-42-2869
		伊勢崎古文書学習会	〒372-0055	伊勢崎市寿町41-2	諏訪 重雄	0270-25-6190
		文化財古文書同好会	〒379-2204	伊勢崎市西久保町2丁目8番地赤堀公民館内	細井邦一郎	0270-62-1153
	太田市 (2)	境古文書を読む会	〒370-0103	伊勢崎市境女塚町286-2	湯澤 芳三	0270-74-3749
		古文書あゆみの会	〒373-0833	太田市牛沢町977-9	原田 耕	0276-38-3710
	沼田市 (2)	沼田古文書を読む会	〒370-0331	太田市新田赤堀町370-7	石塚美恵子	0276-56-6134
		沼田古文書を読み合う会	〒378-0045	沼田市材木町1315-11 中村厚子方	木島 元	0278-22-4761
	館林市	館林古文書研究会	〒374-0018	館林市城町3-1 館林市立図書館内	青木 源作	0276-74-2346
	藤岡市	藤岡古文書を読む会	〒375-0024	藤岡市藤岡1639-5藤岡公民館内	飯塚 寿男	
	富岡市 (2)	蓮ヶ丘の会	〒370-2332	富岡市内匠161-3	橋 潤	0274-63-3121
		高瀬古文書会	〒370-2300	富岡市中高瀬407	白田 忠實	0274-62-3870
	安中市 (2)	秋間古文書研究会	〒379-0100	安中市安中秋間1801-1 秋間公民館	岡田 穂	027-382-4969
		古文書解説講座同好会	〒379-0221	安中市松井町新堀530 松井田町公民館	上原 寛次	027-393-4401
	みどり市	吹弘野古文書の会	〒376-0102	みどり市大間々町柳原833-5	高橋 直直	0277-73-2118
	多野郡	吉井町古文書愛好会	〒370-2132	吉井町吉井285吉井町郷土資料館内		027-387-5235
	吾妻郡 (2)	長野原町丙舎会（休止中）	〒377-1307	長野原町羽尾186	板井 一雄	0279-82-4519
		六合村古文書部	〒377-1704	六合村小南577-1六合村教育委員会内	明田川達雄	0279-95-3317
	利根郡	古文書研究会	〒378-0111	川増村萩室26-3	宮内 健輔	0278-52-2260
邑楽郡 (2)	古文書けやきの会	〒370-0523	大泉町大字吉田2465大泉町公民館	北村 雅義	0276-62-4204	
	大泉古文書の会	〒370-0516	大泉町中央3-11-21大泉町立図書館	小川八千代	0276-63-0463	

告知板



『群馬県行政文書件名目録』第19集 〔明治期庶務・秘書・統計編〕の発行

本目録は「群馬県行政文書簿冊目録第1集」明治期行政文書編の分類項目中「庶務・秘書」「統計」に類別されている簿冊二六三冊より二、七七〇件を取録した閲覧用の文書件名目録です。それぞれ細項目を設定し、検索の便を図っています。

●『群馬県立文書館収蔵文書目録』第26集（前橋地区諸家文書 一）の発行
本目録は、前橋市龍蔵寺町自治会文書、同市小神明町の前橋市小神明町自治会文書、大胡町上大屋を伝存地とする大胡町上大屋区有文書（現前橋市上大屋町）、同町茂木の大胡町茂木第二区有文書（現前橋市茂木町）の計四件の史料を集録しています。なお、同地区の「収蔵文書目録」としては、第5集・第10集があります。

●『ぐんま史料研究』第二十六号の発売
〔論文〕前沢和之「古代東国の石碑をめぐる二、三の問題」、久保田順一「中世上野の東西道について―古代東山道駅路「牛堀・矢ノ原ルート」との関わり」、石原征明「山口重信と自由民権運動」、板橋春夫「いのちの視点からみた産育儀礼と

葬送儀礼―群馬県館林市上三林、下三林地区の事例から」、〔史料〕「大日本帝国憲法下における群馬県衆議院議員選挙録（十一）」

販売価格は一冊一〇〇円です。文書館で販売しています。また、バックナンバーも販売しておりますので、詳しくはお問い合わせください。なお、本誌は今号をもってしばらく休刊いたします。

●郷土資料・県内書店で販売中

『群馬県史（全37巻）』ぐんま史料研究』研究紀要「双文」、学校一般向け資料集「授業で使えるぐんまの資料」、『元祿国絵図パズルキット』等の郷土資料を次の書店で販売しています。

前橋・高崎地区―換乎堂・紀伊国屋書店
太田地区―ナカマヤ

従来通り、文書館でも販売しています。内容・刊行状況につきましては、文書館ホームページ（<http://www.archives.pref.gunma.jp/>）をご覧ください。

●『行政文書目録検索システム』の一部運用が開始されました。

今回、検索できるようになったのは、群馬県指定重要文化財の内、明治期行政文書、明治期地図、議会図書室収蔵文書です。今後、大正期・昭和戦前期と、順次更新していきますので、ご利用ください。

あゆみ



〔平成19年度〕

3・25 「群馬県行政文書件名目録」第19集刊行

3・31 「群馬県立文書館収蔵文書目録」第26集刊行

〔平成20年度〕

5・27 群馬協賛会・講演会

5・28 文書調査委員会開催

6・7 古文書入門講座（7・5、全5回）

6・30 行政文書の受任・引継取集（県庁、教育委員会）（7・9）

7・4 収蔵資料展（1）―古文書で語る

庶民の暮らし―赤城南麓の村々を訪ねて（7・28）開催

7・23 ふるさと再発見講座③（太田市

立縁切寺満徳寺資料展）開催

7・25 夏休み！子ども探検隊（8・15全4回）開催

8・2 長期古文書講座（11・29全14回）開催

9・17 ふるさと再発見講座④（水井宿

郷土館）開催

9・30 群馬協賛会・文書館後援（公文書等保存活用研修会）開催

10・11 収蔵資料展（2）―統計資料で

11・5

ふるさと再発見・明治期ぐんまの人とくらし（7・25）開催

11・7 特別展（県庁県民ホール）目で見える文書館資料展―絵図・絵

ピラ・アラカルト―開催（7・11）

11・10 常設展「なぜ記録を残すのか？

―アーカイブズの役割」開催（7・6・21）

2・12 文書館運営協議会開催

2・20 群馬協賛会・文書館後援公文書

等保存専門講座開催

3・27 「ぐんま史料研究」第26号刊行

案内図



発行 群馬県立文書館

〒371-0182 前橋市文京町1丁目16

印刷 松本印刷工業株式会社

字 岡庭正人書